

美しいまちなみ優秀賞

伊丹市 伊丹酒蔵通り地区

所在地
地区面積
応募者

兵庫県伊丹市
約3.8ha
伊丹酒蔵通り協議会
伊丹市

＜地区の概要＞

当地区は、JR伊丹駅前の西側に位置し、かつては江戸中期から酒造業でさかえ、町家、酒蔵、社寺などが集中する郷町として灘におとらぬ繁栄を誇ったところである。

伊丹郷町の酒蔵・町屋のイメージを残すため、伊丹市は昭和59年に景観条例を制定し主に大規模建築物を対象に景観誘導を行ってきた。平成18年に景観法に基づく景観計画を策定し、色彩規制を加え、さらに平成20年より当地区を重点区域に指定して全ての建物を対象に景観誘導を実施している。一方で市は、メイン通りである歩行者優先道路について整備を行うとともに、沿道施設について助成金交付による修景事業を推進してきた。他方で、民間活力による長屋風飲食店が建設され、また地区内の商業者を中心とする活動組織が灯りのイベントを開催するなど、通りの景観形成と賑わい創出が公民一体で図られている。



▲伊丹駅前から東西に伸びる歩行者専用道路沿いには、酒蔵や郷町長屋風飲食店、再現された大溝などが建ち並び、江戸時代より栄えた伊丹郷町の趣を今に伝えている。



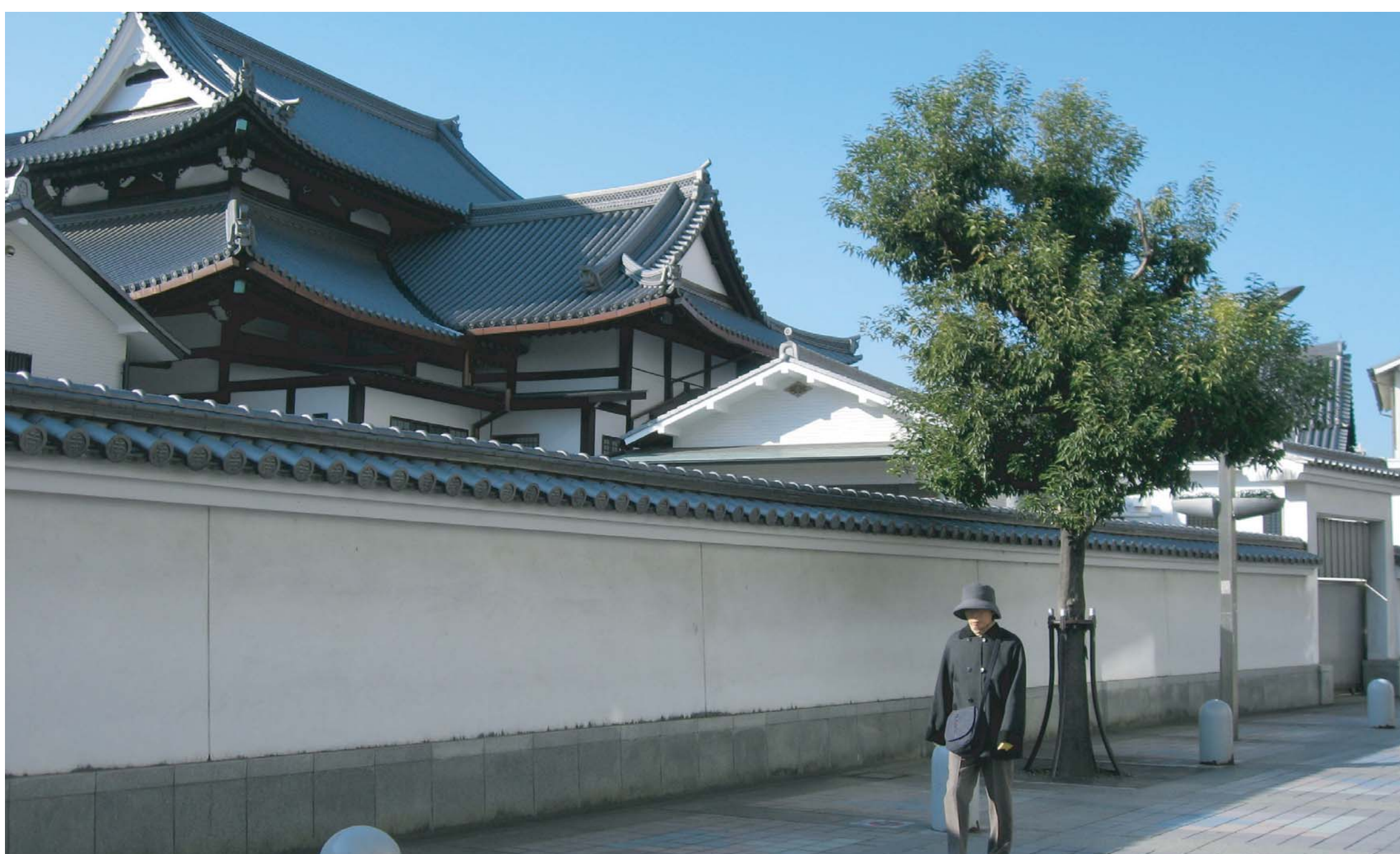
▲「白雪ブルワリービレッジ長寿蔵」は、19世紀中期に建設された酒蔵で、平成7年に内部を改装し、現在レストラン・展示施設として活用されている。



▲郷町長屋風飲食店（第1号）により、通りの景観形成と賑わいの創出がなされている。



▲発掘調査で発見された江戸時代の遺構「大溝」が再現され、酒造りで栄えた江戸時代の趣を今に伝えている。



▲地区の西端に位置する本泉寺の本堂は、戦争や震災を逃れ300年の歴史を誇っている。土塀は、道行く人々に歴史的風情を感じさせる。



▲「伊丹酒蔵通り協議会」主催で行われた「伊丹酒蔵通りまち灯り」イベントでは、協議会メンバーの手作りの行灯が並べられた。